

主管課	健康づくり支援課	一 般 会 計					
		款		項		目	
		4	衛生費	1	保健衛生費	3	保健指導費
事業の主な内容及び成果							
【健康づくり推進事業】							
○飯能市健康のまちづくり計画の推進及び策定事業							
＜飯能市健康のまちづくり計画（第二次飯能市健康増進計画・飯能市食育推進計画）の推進＞ 健康づくりを総合的・継続的に推進し、市民が健康づくりに取り組みやすい地域環境を整えるため、市民、地域、関係機関や団体、行政等の連携による推進体制を築き、飯能市健康のまちづくり計画の推進を図った。							
＜計画の評価・改定にあたり基礎資料作成のための「健康づくりに関するアンケート調査」の実施＞ 無作為抽出郵送法 3,000人 有効回答 1,023人（回答率 34.1％）							
＜健康・体力づくり飯能市民会議の開催＞ 飯能市健康のまちづくり計画の推進や重点事業実施計画、評価・改定にむけた検討を行った。							
＜健康づくり推進庁内検討会議及び部会等の開催＞ 第二次飯能市健康増進計画における重点事業の推進、飯能市食育推進計画における行動目標別推進事業についての検討等を行った。また、計画改定にむけた市民アンケート調査の設問等の検討を行った。							
＜野菜プロジェクトの推進＞ 市民の野菜摂取量を増やし、野菜摂取量日本一のまちを目指すため、「地産地消の推進」や「野菜3倍レストラン」「地域野菜グルメ」の普及など、各事業の実施に関して調整を行ったほか、観光協会と連携して「飯能はんじょう鍋」の普及を行うなど、野菜プロジェクトの総合的な推進を図った。							
＜ウォーキングの振興＞ 各地区行政センター・公民館や地域の関係団体等が主催するウォーキング人口3万人を目指す取組み「スゴ足イベント」の開催を支援した。また、ウォーキングを継続していくために「飯能市スゴ足手帳（ウォーキング手帳）」を活用するよう各種イベントで啓発した。 ※スゴ足イベント・・・10キロメートル程度を歩行する健康づくりのためのウォーキング大会							
＜健康づくりに関する啓発事業＞							
・健康づくり標語コンクールの開催 小学生の部247点、中学生の部158点、成人の部149点の応募があり、最優秀賞3点、優秀賞15点、ユーモア賞3点、野菜プロジェクト推進標語4点を表彰した。							
・健康まつりの開催 市内の医療関係機関等と連携し、健康づくりに対する意識の高揚を図った。							
開催期日		参加者数(延べ)		内 容			
平成28年10月16日（日）		2,410 人		健康長寿サポーター養成講座・薬の相談・血圧測定・野菜グルメ試食・歯の相談ほか			

事業の主な内容及び成果

○自殺対策事業

自殺対策事業として、自殺予防庁内担当者連絡会議を実施した。自殺予防週間(9月)と自殺対策強化月間(3月)に併せて啓発事業及び人材育成事業を実施した。啓発事業では「こころの健康づくりの集いinはんのう」「特別展示いのち・つなげる 私を支えたこの1冊」を開催した。人材育成事業としてゲートキーパー養成講座、対面相談支援事業としてうつ病体験者と家族の集いを実施した。自殺の危険が高いアルコールに悩む方の節酒指導プログラム及びアルコール依存症者やその家族のための断酒に向けた酒害相談会、臨床心理士によるこころの健康相談を実施した。

<自殺予防庁内担当者連絡会議の開催>

開催期日	庁内関係機関	内 容	講 師 等
28年 8月24日 (水)	庁内関係課(6部15課所) ・企画総務部(企画調整課、職員課) ・財務部(収税課) ・市民生活部 (地域活動支援課、市民課、生活安全課) ・産業環境部(産業振興課) ・健康福祉部 (地域・生活福祉課、障害者福祉課、 介護福祉課、子育て支援課、保険年金課、 健康づくり支援課) ・教育部(学校教育課、教育センター)	①飯能市の自殺の現状 ②自殺対策事業の実施状況 ③今年度事業計画 ④研修「事例検討」	・埼玉県立精神保健 福祉センター地域支 援担当 ・埼玉県狭山保健所 保健予防推進担当

<こころの健康づくりの集いinはんのう>

開催日	参加者数	内 容	講 師 等
29年 2月25日 (土)	137 人 60 40	講演会 『うつ』の治療と予防 こころの健康づくりサポーター養成講座 実践編 体験！ピアサポート	角田健一氏 (南飯能病院院長) こころの健康づくりの集い 実行委員会 断酒ヒューマニティグループ、 みなくる倶楽部、みのり会
備考	自殺対策強化月間に併せて実施した。 狭山保健所後援、こころの健康づくりの集い実行委員会が企画・運営した。		

<自殺予防週間 特別展示「いのち・つなげる」～私を支えたこの1冊～>

日時	平成28年8月27日(土)～平成28年9月29日(木)
場所	飯能市立図書館 エントランス(企画展示コーナー)
内容	「図書館スタッフ編」とし、「いのち」について考え「いのちをつなぐ」をテーマに推薦図書を展示した。

<自殺対策強化月間 特別展示「いのち・つなげる」～私を支えたこの1冊～>

日時	平成29年2月25日(土)～平成29年3月30日(木)
場所	飯能市立図書館 エントランス(企画展示コーナー)
内容	「あなたの町のお医者さん」編とし、「いのち」について考え「いのちをつなぐ」をテーマに飯能地区医師会所属医師の推薦図書を展示した。

事業の主な内容及び成果

＜ゲートキーパー研修(平成29年2月25日(土) こころの健康づくりの集いにて実施・再掲)＞

回数	参加者数	内 容	講 師
1 回	60 人	こころの健康づくりサポーター養成講座 実践編「一緒に学ぶ！ 支えあいのコツ」	こころの健康づくりの集い 実行委員会

＜臨床心理士によるこころの健康相談＞

実施回数	参加者数(延べ)
4 回	6 人

＜うつに関する相談会＞

実施回数	参加者数(延べ)
2 回	5 人

自殺対策事業として9月、3月に実施した。

＜精神保健に関する相談事業＞

区 分	面 接	訪 問	電話相談	合 計
実人数	人 26	人 75	人 —	人 101
延べ人数	70	181	9	260

※電話相談は、匿名性が高いため実人数は集計していない。

＜酒害相談会＞

実施回数	参加者数(延べ)
12 回	157 人

＜メンタルヘルス研修(職員課と共催)＞

実施回数	参加者数(延べ)
2 回	137 人

○健康長寿サポーター事業

健康長寿サポーター事業では、各地区行政センターとの共催や出前講座、健康まつり等で健康長寿サポーター養成講座を実施した。

・健康長寿サポーター養成講座

実施回数	参加者数
15 回	283 人

○言語リハビリ教室

実施回数	当事者数(延べ)	家族人数(延べ)	合 計
12 回	44 人	33 人	77 人

○食育推進に関する事業

食育啓発事業として、各保育所、幼稚園、小学校に出向き、保護者や幼児を対象に食育講話を実施した。

・食育講話

区 分	実施回数	保育所・幼稚園	小学校	合 計
幼児、児童、生徒	28 回	1,915 人	0 人	1,915 人
保護者	15 回	210 人	95 人	305 人

事業の主な内容及び成果

○地区組織活動支援事業

地区組織活動のひとつである食生活改善推進員協議会への支援では、各支部に職員が出向き、食生活改善について啓発した。

・食生活改善推進員活動状況

生活習慣病 予防		母子の健康 貧血予防		高齢者の 健康・食生活		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
29 回	418 人	14 回	238 人	10 回	131 人	13 回	117 人	66 回	904 人

○健康体力づくり事業

＜エクササイズウォーキング講座＞

・ベーシッククラス

6月から市内3会場でベーシッククラス講座を開催した。

会 場	開催期日	応募者実数	参加延べ人数
	月	人	人
東吾野地区行政センター（全4回）	6～7	26	84
飯能中央地区行政センター（全5回）	10～11	24	82
美杉台地区行政センター（全4回）	2～3	31	87
合 計		81	253

・エクセレントクラス

ベーシッククラス講座を2回以上修了した方を対象にエクセレントクラス講座を開催した。

会 場	開催期日	参加者数
		人
市民体育館サブアリーナ	4月23日（土）	29
第二地区行政センター	5月21日（土）	24
加治地区行政センター	9月10日（土）	24
あすなろ会館	10月1日（土）	23
加治東地区行政センター	12月10日（土）	27
双柳地区行政センター	1月21日（土）	26
富士見地区行政センター	3月18日（土）	27
合 計		180

※エクササイズウォーキングとは

いつもより早く歩いたり、歩幅を広げたりして心拍数を上げ、エアロビクス効果でより健康的な身体をつくり、30分で3km歩ける力を目指す。

事業の主な内容及び成果

＜ウォーキング道場講座＞

ウォーキング人口の底辺拡大を図るため「ウォーキング道場」を開催した。

会 場	開催期日	応募者実数	参加者数
吾 野 地 区 行 政 セ ン タ ー	5月17日(火)、31日(火)	人 10	人 20
双 柳 地 区 行 政 セ ン タ ー	10月5日(水)、19日(水)	12	17
精 明 地 区 行 政 セ ン タ ー	2月9日(木)、23日(木)	7	13
合 計		29	50

※ウォーキング道場とは

ウォーキングを始めたい方、学びたい方のための入門編。正しいフォームや基礎知識を習得し、基本フォームを意識しながら5,000歩ウォークができるようになることを目指す。

＜バランスDE若さアップ講座＞

5月から市内3会場で開催した。

会 場	開催期日	回数	応募者実数	参加延人数
名 栗 地 区 行 政 セ ン タ ー	月 6～7	回 6	人 12	人 52
原 市 場 地 区 行 政 セ ン タ ー	11～12	6	23	111
南 高 麗 地 区 行 政 セ ン タ ー	2～3	5	22	95
合 計		17	57	258

※バランスDE若さアップとは

バランススティックを使い有酸素運動や軽い筋トレ、ウォーミングアップやクールダウンなど総合的なプログラムを行い、楽しみながらバランス力を鍛えて体力アップを目指す。

○骨髄移植ドナー助成金

公益財団法人日本骨髄バンク(以下「バンク」)が実施する骨髄バンク事業において骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者に対し、助成金を交付し、骨髄又は末梢血幹細胞の移植及びドナー登録の推進を図った。

・ 助成金の額 : 骨髄等の提供に係る通院等の日数に2万円を乗じて得た額(14万円限度)

助成件数	助成金額
1件	140,000円

事業の主な内容及び成果

【生活習慣病対策事業】

健康増進法に基づく事業では、健康手帳を交付し、市民一人一人の健康管理に役立てた。

健康教育は、生活習慣病の予防と改善を図るため、講義やグループワーク、調理実習等を通して参加者自身の生活改善への取り組みを支援した。

健康相談・栄養相談では、自らが目指す理想の姿の実現に向けての支援を行い、食事を含めた生活習慣の改善に効果をあげた。

18歳から39歳までの健康診査は、健診の機会の少ない市民を対象に、生活習慣上の危険因子等を早期発見し改善点を見つけるために実施した。

がん検診は、受診率の向上と市民の利便性を高めるため、保健センターや各地区行政センターを会場として、各種検診をセット化した「メンズがん検診」や「レディースがん検診」など、複数のがん検診を一度に受診できるように実施した。また、新たに前立腺がんの医療機関検診を開始し、特定健康診査と同時または単独でも受診できるようにした。国のがん対策事業の一貫として、子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券と検診手帳を対象者に郵送し、がん検診の勧奨と検診を実施した（平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業）。

特定保健指導については、医療機関の協力を得て特定健康診査の受診者全員に、生活習慣改善に向けての案内チラシを配布した。また、特定保健指導該当者には、個別通知のほか電話や家庭訪問による勧奨を行った。特定保健指導は、集団方式・個別方式を用意し、対象者に合ったメニューを活用して生活習慣を見直し、内臓脂肪症候群の改善・予防に努めた。

○健康手帳の交付

年齢区分	40～74歳	75歳以上	合 計
交付者数	423 人	71 人	494 人

○集団健康教育(延べ人数)

区 分	血糖値改善教室	栄養学セミナー	ヘルスアップ運動教室	骨粗しょう症検診時健康教育	骨粗しょう症予防教室	出前講座	計
開催回数	12 回	8 回	12 回	2 回	2 回	2 回	38 回
参加者数	125 人	112 人	278 人	266 人	33 人	52 人	866 人

○健康相談

区 分	回 数	相談者数(延べ)		指導区分		
		総合	重点	異常なし	要指導	要医療
一般健康相談(総合)	30 回	215 人	— 人	79 人	117 人	19 人
栄養相談(重点)	41	—	65			
計	71	215	65	79	117	19

事業の主な内容及び成果

○健康診査

区分	対象者	受診者数	保健指導区分別実人数	
			情報提供	要医療
18歳から39歳までの健康診査	18歳以上39歳までの方	170人	149人	21人
特定健康診査	40歳以上	2人	1人	1人
計		172人	150人	22人

○訪問指導

区分	要指導者等	その他
訪問者数(延べ)	6人	4人

○特定保健指導

国民健康保険加入者に対して、特定保健指導を実施した。

・特定保健指導実施状況

特定保健指導実施者数	保健指導区分	
	動機付け支援	積極的支援
53人	44人	9人

* 平成27、28年度の特定健診の結果により平成28年度の特定保健指導対象者となり、特定保健指導を開始した人数

事業の主な内容及び成果

〇がん検診

<胃がん(対象者数 24,840人)>

受診者数	検 査 結 果			精密検査率
	異常なし	精密検査	その他の所見	
1,350 人	1,141 人	165 人	44 人	12.2 %

<大腸がん検診(対象者数 24,840人)>

受診者数	検 査 結 果			精密検査率
	異常なし	精密検査	治療中他	
2,084 人	1,950 人	133 人	1 人	6.4 %

<肺がん検診(対象者数 24,840人)>

受診者数	胸部検診	検 査 結 果			精密検査率
		所見なし	精密検査	その他の所見	
1,905 人	1,905 人	1,649 人	27 人	229 人	1.4 %
	うち喀痰検査 85 人	84 人	0 人	1 人	0 %

<子宮頸がん及び体がん検診(対象者数 19,127人)>

受診者数	子宮頸がん検診			検 査 結 果			精密検査率
				異常なし	精密検査	要再検査他	
	個別検診	一般					
1,336 人		1,196 人		1299 人	12 人	25 人	0.9 %
		140 人					
		うち子宮体がん検診 769 人		752 人	1 人	16 人	0.1 %

※1: 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金

事業の主な内容及び成果

＜乳がん検診(対象者数 15,824人)＞

受診者数	集団検診	一般	882 人	検 査 結 果			精密検査率
				異常なし	精密検査	要再検査他	
		がん検診総合 支援事業補助 金※1	96 人	857 人	62 人	59 人	6.3 %
1,398 人	個別検診	一般	312 人	329 人	81 人	10 人	19.3 %
		がん検診総合 支援事業補助 金※1	108 人				

※1:新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金

＜前立腺がん検診(対象者 8,398人)＞

受診者数	集団検診	148 人	検 査 結 果			精密検査率
			異常なし	精密検査	その他の所見	
			131 人	12 人	5 人	8.1 %
650 人	個別検診	特定検診 と同時 318 人	289 人	26 人	3 人	8.2 %
		単独 184 人	167 人	16 人	1 人	8.7 %

○その他の検診

＜骨粗しょう症検診(対象者 2,589人)＞

受診者数	検 診 所 見		
	異常を認めず	要指導者	要精密検査者
266 人	27 人	224 人	15 人

事業の主な内容及び成果

【コウノトリ事業】

保険治療が適用されない不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けている夫婦に対し、治療費の助成を行うことで経済的負担を軽減し夫婦の望むタイミングに治療を受けられるよう、都道府県等の助成に加え市の助成制度を平成27年度から設けた。

- ・対象者： 戸籍上の夫婦、県の助成制度の交付決定者、夫婦の双方又は一方が飯能市民、市税の滞納がないこと。
- ・助成額： 治療費から都道府県等助成額を控除した後の額で、治療内容に応じて10万円、又は5万円を上限とする。限度額に満たない場合はその額が助成額となる。
- ・助成回数： 40歳未満で治療を開始した場合、43歳までに通算6回
40歳以上の場合通算3回の助成を受けることができる。

助成件数	助成金額
50件	3,983,929円

【母子保健事業】

平成28年度から利用者支援事業として、妊娠届出時(保健センター(健康づくり支援課)受理分)に保健師が妊婦一人一人と面談を行い、妊婦の状況把握と必要に応じて妊娠期からの支援を開始した。

健康診査事業は、身体発育及び精神発達面から重要な時期である乳児・1歳6か月児及び3歳児を対象として実施している。疾病の有無や発育発達障害の早期発見、保健指導(歯科、栄養、育児相談)の充実を図るとともに、受診率の向上に努めた。また、未受診者については訪問による状況把握と受診勧奨を行った。

乳児家庭の孤立化の防止と乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に「乳児家庭全戸訪問事業」を実施した。

また、地区担当制を実施しながら、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施した。

○妊娠届出

妊娠届出数	左のうち保健センター(健康づくり支援課)で受けた件数
件	件
496	245

○母子健康手帳交付件数

交付	追加交付	再交付	合計
人	人	人	人
496	3	12	511

○妊婦健康診査

妊婦一般健康診査	5,680 人
子宮頸がん検査	474 人
超音波検査	1,735 人
HIV抗体検査	489 人
HBs抗原検査	489 人
HCV抗体検査	489 人
HTLV-1抗体検査	455 人
クラミジア検査	481 人
風疹ウイルス抗体	487 人
延べ受診者数	10,779 人

事業の主な内容及び成果

○健康診査

健 診 名	対 象 者	受診実人数
	人	人
乳 児 健 康 診 査	480	472
1歳6か月児健康診査	555	540
3歳児健康診査	504	501
2歳児歯科健診	513	403

○健康教育

区 分	地区組織 の育成	離乳食 栄養指導	両親・母親 学級	にこにこ おやつ教室	歯みがき 指導
回 数	回 141	回 24	回 22	回 5	回 30
延 べ 参加者数	人 1,414	人 369	人 390	人 43	人 1,417

○育児学級

区 分	すこやかクラブ (育児学級)	すくすくクラブ (遊びの教室)	たけのこの会 (未熟児の 親の会)	いるかの会 (難聴児の会)	母親学級 OG会
回 数	回 6	回 23	回 2	回 2	回 6
延 べ 参加者数	人 131	人 375	人 6	人 8	人 33

○相談事業

区 分	2か月児相談	乳幼児相談 (一般)	身体計測会
回 数	回 12	回 25	回 22
延 べ 参加者数	人 389	人 174	人 907
区 分	乳幼児相談 (予約)	発育発達相談	ことばの相談
回 数	回 12	回 14	回 12
延 べ 参加者数	人 66	人 131	人 16

事業の主な内容及び成果

○訪問指導

区 分	妊婦	産婦	親	新生児	未熟児	乳児	幼児	合 計
延べ 人数	人 4	人 61	人 326	人 49	人 5	人 118	人 245	人 808

○乳児家庭訪問全戸訪問事業

対象者	産婦	新生児	乳児
人 470	人 462	人 175	人 295

○未熟児養育医療受給者数

受給者
人 17

○母子愛育班員の訪問状況(地区別)

区 分	飯 能	精 明	加 治	南高麗	吾 野	東吾野	原市場	合 計
班 員 数	人 54	人 44	人 33	人 9	人 16	人 19	人 31	人 206
声かけ・訪問 延べ件数	件 3,900	件 3,658	件 1,746	件 388	件 1,818	件 825	件 1,282	件 13,617